

平成 28 年度伴走型小規模事業者支援推進事業

消費者における
氏家うどんに関する意識調査報告書
(需要動向調査)

平成 29 年 1 月

氏家商工会

目次

1. 調査の概要	3
① 目的	3
② アンケート調査の実施概要.....	3
③ アンケート回収状況および有効回答票数.....	3
2. 調査結果	4
回答者の属性について.....	4
① 性別	4
② 年齢	5
③ 性別年齢	6
消費者のうどんにおける意識.....	7
① 氏家うどんの認知度.....	7
② うどんブランドの第一再生知名.....	9
③ うどんを食する頻度.....	12
④ うどんを食するタイミング.....	14
⑤ うどんの好み	16
⑥ うどんの食べ方	18
⑦ 麺について	20
⑧ 具材について	26
⑨ 薬味について	36
3. まとめ	42
Appendix	44

1. 調査の概要

① 目的

本調査は、経営発達支援計画における需要動向調査として実施し、氏家地域およびその近隣地域に住む消費者に「うどん」や『氏家うどん』に関する意識や需要動向などを調査分析することにより、当商工会地域の事業者に対し、今後の事業展開に有益となる情報を提供することに加えて新商品開発の基礎資料作りを目的としている。

② アンケート調査の実施概要

実施主体：東洋パラメディカル学院、さくら市

実施場所：東洋パラメディカル学院、さくら市総合公園さくらスタジアム

実施対象：東洋パラメディカル学院学園祭、さくら市マラソン大会

実施日：平成28年9月24日（土）、10月10日（月）

実施方法：来場者に負担が掛からないよう調査員がアンケート内容を読み上げ、アンケート用紙にチェックする方式で実施

③ アンケート回収状況および有効回答票数

アンケート回収数：208票

有効回答票数：208票

2. 調査結果

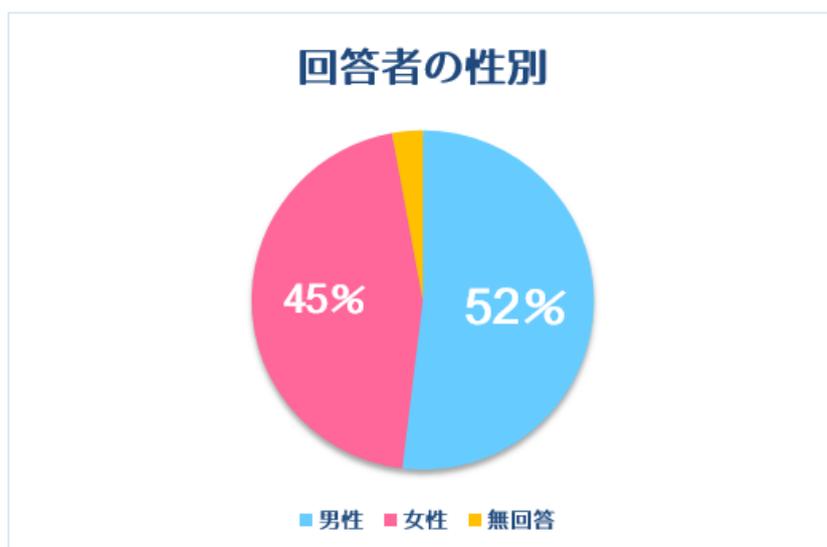
回答者の属性について

本調査は、東洋パラメディカル学院学園祭およびさくら市マラソン大会の来場者に対して実施しており、本調査を分析するにあたり、はじめに回答者の属性について言及する。

① 性別

本調査における回答者の性別は、男性が52%で、女性が45%となっている。男女で7%の差はあるものの、ほぼ半数の結果となっているため、性別における偏った特性は少ないと考えられる。また無回答が3%ほどあるが、無回答による全体の影響は少ないと考えられるため、性別における無回答は、これ以降の分析では考えないものとする。

選択項目	回答数	構成比
男性	108	52%
女性	94	45%
無回答	6	3%
計	208	100%



② 年齢

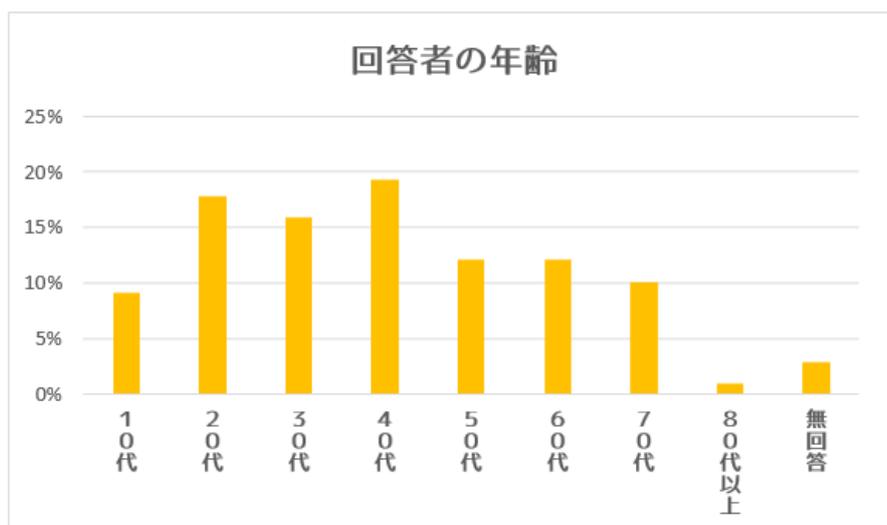
本調査における回答者の年齢は、40代が19%で最も高く、次いで、20代が18%、50代、60代が12%と続いている。表・グラフからも20代～40代の世代は、他の世代よりも若干構成比が高くなっており、10代、80代以上の世代においては他の世代よりも構成比が低くなっている。

しかし本調査結果は、一般的な消費者相手のアンケート調査（※）よりも年代におけるバラツキは少ない方と考えられるため、こちらも性別同様、年代における特性は少ないと考えられる。

また80代以上および無回答の回答は、どちらも3%以下と全体における影響が小さいと考えられるため、年齢別における80代以上および無回答は、これ以降の分析では考えないものとする。

※ 消費者相手のアンケート調査では、50代、60代を頂点に大きな山なりの構成比になる場合が多い。

選択項目	回答数	構成比
10代	19	9%
20代	37	18%
30代	33	16%
40代	40	19%
50代	25	12%
60代	25	12%
70代	21	10%
80代以上	2	1%
無回答	6	3%
計	208	100%



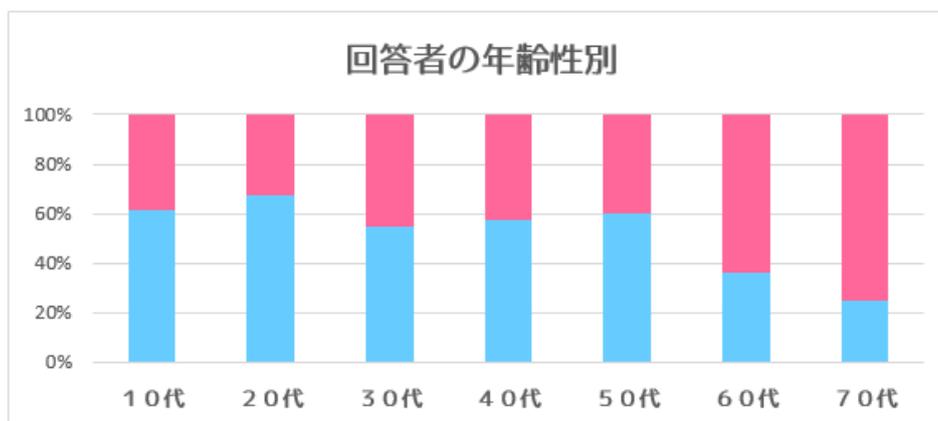
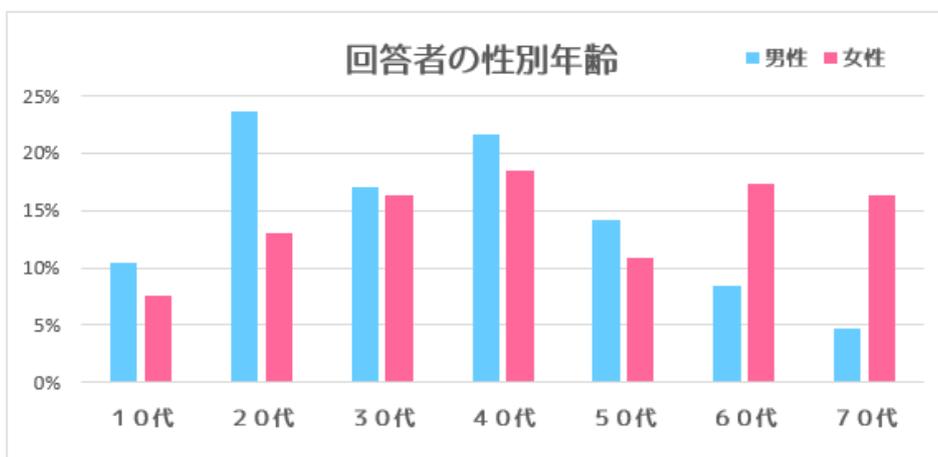
③ 性別年齢

本調査における回答者の性別年齢では、男性は、若者世代の構成比が高くなっており、女性は、どちらかと言えばご年配世代の構成比が高くなっている。

また年齢別における性別の構成比は、10代～50代までは男性が高く、60代、70代では女性の方が高くなっている。

したがってこれ以降の分析では、性別年齢においてこのような特性を鑑みて考察を行っていく必要があると考えられる。

選択項目	男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比
10代	11	10%	7	8%
20代	25	24%	12	13%
30代	18	17%	15	16%
40代	23	22%	17	18%
50代	15	14%	10	11%
60代	9	8%	16	17%
70代	5	5%	15	16%
合計	106	100%	92	100%



消費者のうどんにおける意識

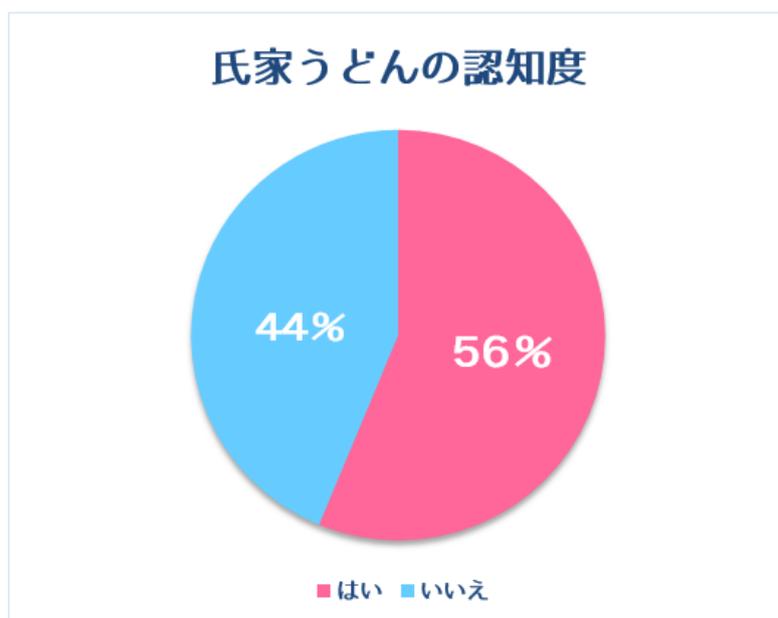
今後、氏家うどんの商品開発および提供の仕方をどのように展開していくべきかを探るために、回答者のうどんにおける意識を分析することで考えていきたい。

① 氏家うどんの認知度

「氏家うどん」はご存知ですか？（○は1つ）」という設問を行い、回答数は208であった。

本調査における回答者の氏家うどんの認知度は、「はい」が56%で「いいえ」が44%となっており、過半数を少し超えている程度であるため、さらなる周知活動が必要であると考えられる。

選択項目	回答数	構成比
はい	117	56%
いいえ	91	44%
計	208	100%



□ 性別

性別では、男性がちょうど半数ずつで、女性は「はい」が63%、「いいえ」が37%となっているため、女性の方が氏家うどんに対する認知度が高いことが分かった。

今後、男性の認知を高めに行く取組として、寒い時期に開催されるファミリー向けのイベントに積極的に参加し、露出度を増やしていただきたいと考えている。

選択項目	男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比
はい	54	50%	59	63%
いいえ	54	50%	35	37%
合計	108	100%	94	100%

□ 年齢別

年齢別では、10代、70代の認知度はかなり高く、7割以上が「はい」と回答している。30代、40代、60代は、全体平均とほぼ同じで過半数を少し超えており、20代、50代は、その逆で過半数を下回っている。

そこで今後の対応として、基本的には年齢に関係なく、広く周知活動を行っていただきたいが、特に過半数を下回っている20代には、SNSやインターネットを活用した周知方法で、50代には、新聞やさくら市の広報誌などの紙媒体で周知活動を行っていただきたい。また20代、50代は男性の構成比が高いため、プロモーション時には、女性を積極的に活用し、例えばさくら市のご当地アイドル『Lovely☆Candy』などの協力を仰いでみてはどうかと考えている。

選択項目	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代	
	人数	構成比												
はい	14	74%	15	41%	18	55%	23	58%	11	44%	13	52%	18	86%
いいえ	5	26%	22	59%	15	45%	17	43%	14	56%	12	48%	3	14%
合計	19	100%	37	100%	33	100%	40	100%	25	100%	25	100%	21	100%

② うどんブランドの第一再生知名

「うどんと言えば「何うどんをイメージ」されますか？（〇は1つ）」という設問を行い、回答数は208であった（無回答を含む）。

本調査における回答者のうどんブランドの第一再生知名は、「讃岐うどん」が65%で最も高く、次いで「稲庭うどん」が13%、「氏家うどん」が7%となっている。

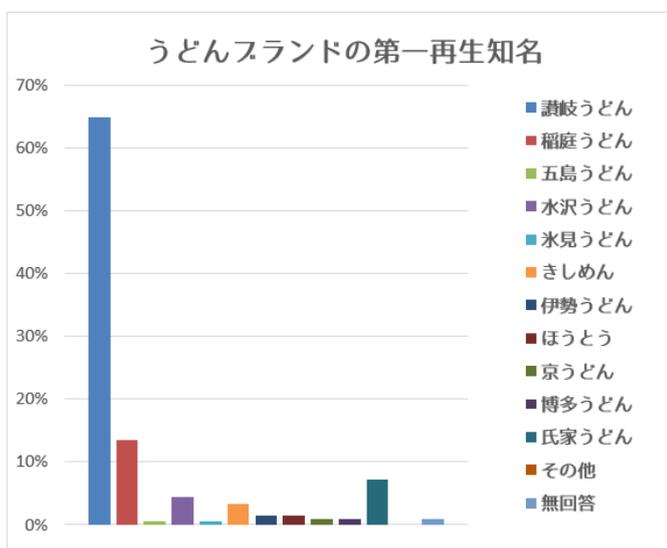
なおブランドの第一再生知名とは、あるカテゴリーのことを聞いて最初に思い出すブランドのことである。つまり「うどんと言えば…」の回答といったことである。

讃岐うどんは、他のうどんブランドよりも特出しているが、日本三大うどん（※）のひとつと言える稲庭うどんは、13%となっている。またお隣の群馬県の水沢うどんできさえも4%と、いかにうどんブランドの認知度を高めることが困難だと言うことが当設問を通して分かった。

※ 日本三大うどん 日本うどん学会の会長を務める三宅耕三・香川短大教授も「定説はない」との見解だが、現状では「讃岐」と「稲庭」はほぼ「当確」という見方が強い。第三のうどんには、長崎県の「五島」、群馬県の「水沢」、富山県の「氷見」のほか、名古屋の「きしめん」が挙がることもある。

（出典：2007-08-20 朝日新聞 夕刊 2 社会）

選択項目	回答数	構成比
讃岐うどん	135	65%
稲庭うどん	28	13%
五島うどん	1	0%
水沢うどん	9	4%
氷見うどん	1	0%
きしめん	7	3%
伊勢うどん	3	1%
ほうとう	3	1%
京うどん	2	1%
博多うどん	2	1%
氏家うどん	15	7%
その他	0	0%
無回答	2	1%
計	208	100%



□ 性別

性別では、男性は全体平均の傾向と似ており、女性は全体平均と比べて「稲庭うどん」と「氏家うどん」の構成比が高くなっている。

選択項目	男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比
讃岐うどん	73	68%	56	60%
稲庭うどん	9	8%	19	20%
五島うどん	1	1%	0	0%
水沢うどん	6	6%	3	3%
氷見うどん	0	0%	1	1%
きしめん	4	4%	3	3%
伊勢うどん	0	0%	3	3%
ほうとう	3	3%	0	0%
京うどん	1	1%	1	1%
博多うどん	2	2%	0	0%
氏家うどん	7	6%	8	9%
その他	0	0%	0	0%
無回答	2	2%	0	0%
合計	108	100%	94	100%

□ 年齢別

年齢別では、前述した氏家うどんの認知度と同様、10代、70代の「氏家うどん」の第一再生知名の構成比は他の年代に比べて高くなっている。全体的な観点では、10代～50代までは、ある程度全体平均に近い傾向となっているが、60代、70代の構成比は、少しその傾向とはずれが生じている。その理由として、60代と70代はその他の年代よりも女性の割合が高く、また上図にある性別の表からも分かる通り、女性の結果は全体平均との間に少しギャップが生じているためだと考えられる。

どちらにしても性別で、うどんにおけるブランドの第一再生知名の違いがあることが分かった。

また今後の対応として、10代、70代を対象に「氏家うどん」に関わる調査を実施し、そこからなぜ他の年代よりも「氏家うどん」に対するブランドの第一再生知名が高いのかの分析をしてみることも効果的と考えられる。

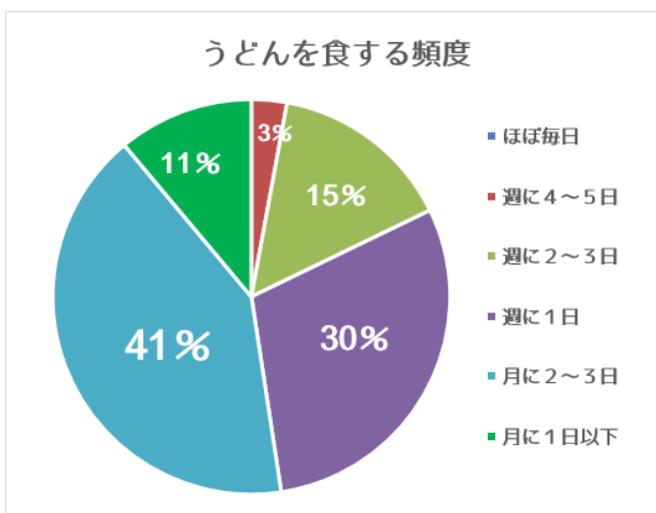
選択項目	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代	
	人数	構成比												
讃岐うどん	12	63%	29	78%	27	82%	24	60%	17	68%	13	52%	7	33%
稲庭うどん	1	5%	1	3%	3	9%	10	25%	5	20%	4	16%	4	19%
五島うどん	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
水沢うどん	0	0%	3	8%	0	0%	0	0%	1	4%	4	16%	1	5%
氷見うどん	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	4%	0	0%	0	0%
きしめん	1	5%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	1	4%	3	14%
伊勢うどん	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	1	4%	1	5%
ほうとう	1	5%	2	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
京うどん	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	1	5%
博多うどん	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	1	4%	0	0%	0	0%
氏家うどん	3	16%	1	3%	1	3%	3	8%	0	0%	2	8%	4	19%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	1	5%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	19	100%	37	100%	33	100%	40	100%	25	100%	25	100%	21	100%

③ うどんを食する頻度

「うどんを「どれくらいの頻度」で食べられますか？（○は1つ）」という設問を行い、回答数は208であった。

本調査における回答者のうどんを食する頻度は、「月に2～3日」が41%で最も高く、次いで「週に1日」が30%、「週に2～3日」が15%となっており、8割を超える回答者が2週間に一度は、うどんを食していることが分かった。

選択項目	回答数	構成比
ほぼ毎日	0	0%
週に4～5日	6	3%
週に2～3日	31	15%
週に1日	62	30%
月に2～3日	86	41%
月に1日以下	23	11%
計	208	100%



□ 性別

性別では、週に何度もうどんを食するヘビーな回答者は男性の方が多いが、全体的な観点から見ると、女性の過半数以上（53%）が「週に1日」以上うどんを食すると回答しており、男性よりも女性の方がうどんを食する頻度が多いことが分かった。

選択項目	男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比
ほぼ毎日	0	0%	0	0%
週に4～5日	5	5%	1	1%
週に2～3日	12	11%	18	19%
週に1日	30	28%	31	33%
月に2～3日	46	43%	36	38%
月に1日以下	15	14%	8	9%
合計	108	100%	94	100%

□ 年齢別

年齢別では、50代～70代の過半数以上が「週に1日」以上うどんを食すると回答しており、その中でも70代は7割を超えている。全体的な観点から見てみると、年代が高くなるほど、うどんを食する頻度が多い傾向にあることが分かった。

したがって今後の対応としては、若い世代ほど多様化が進んでいるため、うどんへの接点を増やすためにも、既成概念にとらわれない新たなうどんの食べ方や提供の仕方を創造する必要があると考えられる。

選択項目	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代	
	人数	構成比												
ほぼ毎日	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
週に4～5日	0	0%	0	0%	1	3%	2	5%	1	4%	0	0%	2	10%
週に2～3日	1	5%	4	11%	5	15%	4	10%	3	12%	5	20%	6	29%
週に1日	3	16%	10	27%	7	21%	13	33%	11	44%	9	36%	8	38%
月に2～3日	10	53%	16	43%	19	58%	14	35%	9	36%	9	36%	5	24%
月に1日以下	5	26%	7	19%	1	3%	7	18%	1	4%	2	8%	0	0%
合計	19	100%	37	100%	33	100%	40	100%	25	100%	25	100%	21	100%

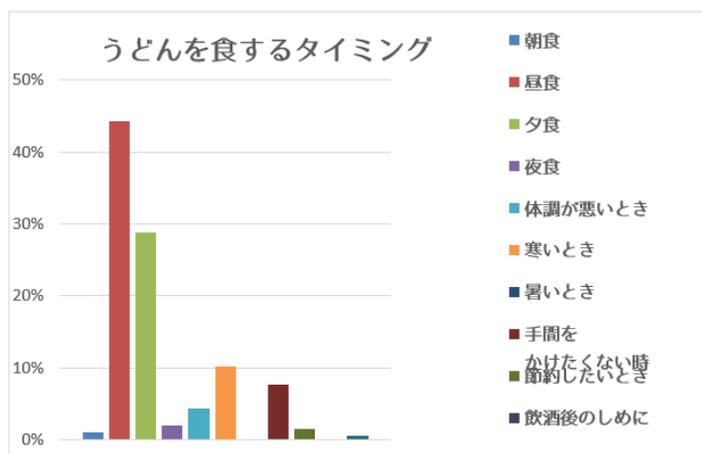
④ うどんを食するタイミング

「うどんを特に食べたいときは「どのような時」ですか？お聞かせください。（〇は1つ）」という設問を行い、回答数は208であった。

本調査における回答者のうどんを食するタイミングは、「昼食」が44%と最も高く、次いで「夕食」が29%、「寒いとき」が10%となっており、時間でのタイミング（朝食～夜食）の回答が7割を超えている。

したがってうどんを食するタイミングとして「体調が悪いとき～飲食後のしめに」の回答と言った「コト」での食べ方がまだ確立されていない食べ物だということが分かった。

選択項目	回答数	構成比
朝食	2	1%
昼食	92	44%
夕食	60	29%
夜食	4	2%
体調が悪いとき	9	4%
寒いとき	21	10%
暑いとき	0	0%
手間をかけたくない時	16	8%
節約したいとき	3	1%
飲酒後のしめに	0	0%
その他	1	0%
計	208	100%



□ 性別

性別では、男性は全体平均の傾向と似ており、女性は男性よりも「体調が悪いとき～飲食後のしめに」の回答と言った「コト」での食べ方が若干高くなっている。

選択項目	男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比
朝食	2	2%	0	0%
昼食	52	48%	35	37%
夕食	28	26%	31	33%
夜食	3	3%	1	1%
体調が悪いとき	5	5%	4	4%
寒いとき	9	8%	12	13%
暑いとき	0	0%	0	0%
手間をかけたくない時	6	6%	10	11%
節約したいとき	2	2%	1	1%
飲酒後のしめに	0	0%	0	0%
その他	1	1%	0	0%
合計	108	100%	94	100%

□ 年齢別

年齢別では、30代、40代がその他の世代に比べて「コト」での食べ方が高く、3人に一人は「コト」での食べ方と回答している。

したがって今後の対応としては、うどんを食する頻度の対応と同様、既成概念にとらわれない「コト発想」での新たなうどんの食べ方や提供の仕方を創造することで、うどんを食するシーンや接点が増えるため、うどんを食する頻度が多くなると考えられる。

選択項目	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代	
	人数	構成比												
朝食	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	1	4%	0	0%	0	0%
昼食	9	47%	17	46%	13	39%	13	33%	12	48%	13	52%	11	52%
夕食	4	21%	10	27%	9	27%	11	28%	7	28%	8	32%	7	33%
夜食	1	5%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	2	8%	0	0%
体調が悪いとき	3	16%	0	0%	1	3%	4	10%	1	4%	0	0%	0	0%
寒いとき	2	11%	7	19%	2	6%	5	13%	1	4%	1	4%	3	14%
暑いとき	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
手間をかけたくない時	0	0%	1	3%	6	18%	5	13%	3	12%	1	4%	0	0%
節約したいとき	0	0%	1	3%	2	6%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
飲酒後のしめに	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	19	100%	37	100%	33	100%	40	100%	25	100%	25	100%	21	100%

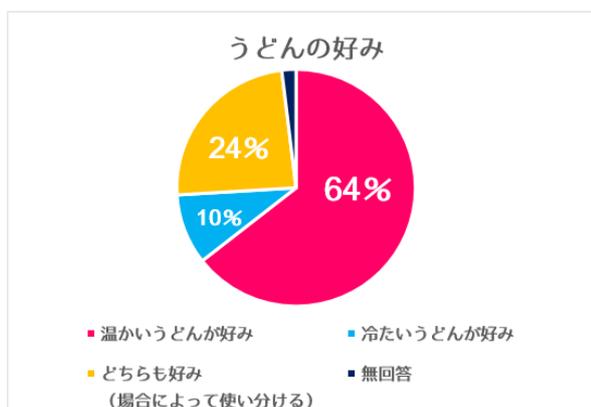
⑤ うどんの好み

「温かいうどん」と「冷たいうどん」の好みについてお聞かせください。(○は1つ)」という設問を行い、回答数は208であった(無回答を含む)。

本調査における回答者のうどんの好みは、「温かいうどんが好み」が64%と最も高く、次いで「どちらも好み(場合によって使い分ける)」が24%で、「冷たいうどんが好み」が10%となっている。

温かいうどんが、特出して高い回答になっている要因として、うどんの食べ方の提案が少ないからだと考えられる。その理由として仮に食べ方の提案が多い場合、回答者としては様々な食べ方がイメージできるため、「どちらも好み(場合によって使い分ける)」の回答率が高くなると考えられるからである。

選択項目	回答数	構成比
温かいうどんが好み	134	64%
冷たいうどんが好み	20	10%
どちらも好み (場合によって使い分ける)	50	24%
無回答	4	2%
計	208	100%



□ 性別

性別では、「温かいうどんが好み」について男性は69%で女性は59%となっている。また「どちらも好み（場合によって使い分ける）」について男性は20%で女性は29%となっており、女性の方が様々なうどんの食べ方でうどんを食していることが分かった。

選択項目	男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比
温かいうどんが好み	74	69%	55	59%
冷たいうどんが好み	11	10%	9	10%
どちらも好み (場合によって使い分ける)	22	20%	27	29%
無回答	1	1%	3	3%
合計	108	100%	94	100%

□ 年齢別

年齢別では、10代と60代、70代で「冷たいうどんが好み」の回答が全くない点が、興味深い。また40代では、「温かいうどんが好み」の回答が過半数を下回っており、その反面、「冷たいうどんが好み」の回答率が他の世代に比べて高くなっている。さらに「どちらも好み（場合によって使い分ける）」の回答率も高いことから、40代は、他の世代よりも様々なうどんの食べ方が出来ていることが分かった。

したがって今後の対応として、40代を対象に「うどんの食べ方」についての調査を実施し、そこから「コト発想」での新たなうどんの食べ方や提供の仕方のアイデアを分析してみることも効果的と考えられる。

選択項目	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代	
	人数	構成比												
温かいうどんが好み	14	74%	21	57%	22	67%	19	48%	17	68%	19	76%	16	76%
冷たいうどんが好み	0	0%	4	11%	4	12%	10	25%	2	8%	0	0%	0	0%
どちらも好み (場合によって使い分ける)	2	11%	12	32%	7	21%	11	28%	6	24%	5	20%	5	24%
無回答	3	16%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	4%	0	0%
合計	19	100%	37	100%	33	100%	40	100%	25	100%	25	100%	21	100%

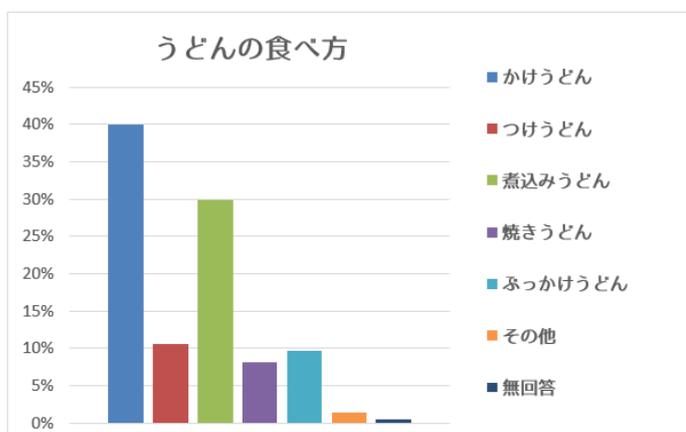
⑥ うどんの食べ方

「もっとも好きなうどんの「食べ方」についてお聞かせください。(○は1つ)」という設問を行い、回答数は208であった(無回答を含む)。

本調査における回答者のうどんの食べ方は、「かけうどん」が40%と最も高く、次いで「煮込みうどん」が30%で、「つけうどん」が11%となっている。

前述したうどんの好みでも「温かいうどんが好み」が6割を超えていることから、当設問でも「かけうどん」や「煮込みうどん」と言った温かいうどんが好まれることは当然と言える。

選択項目	回答数	構成比
かけうどん	83	40%
つけうどん	22	11%
煮込みうどん	62	30%
焼きうどん	17	8%
ぶっかけうどん	20	10%
その他	3	1%
無回答	1	0%
計	208	100%



□ 性別

性別では、男性が「つけうどん」や「焼きうどん」「ぶっかけうどん」の回答率が高く、女性は「煮込みうどん」の回答率が高くなっている。

前述したうどんの好みでは、男性の方が「温かいうどんが好み」の構成比が高かったため、ここでは逆転現象が起きている。

選択項目	男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比
かけうどん	43	40%	38	40%
つけうどん	14	13%	8	9%
煮込みうどん	23	21%	36	38%
焼きうどん	10	9%	7	7%
ぶっかけうどん	16	15%	4	4%
その他	1	1%	1	1%
無回答	1	1%	0	0%
合計	108	100%	94	100%

□ 年齢別

年齢別では、60代、70代は「煮込みうどん」の回答がおよそ7割であるため、ご年配世代の方が、より温かいうどんが好みということが分かった。

また40代を見てみると、ここでも他の世代と比べても回答が分散されていることから40代は、他の世代よりも様々なうどんの食べ方が出来ていることが分かった。

選択項目	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代	
	人数	構成比												
かけうどん	9	47%	12	32%	23	70%	14	35%	13	52%	6	24%	3	14%
つけうどん	3	16%	4	11%	3	9%	5	13%	4	16%	1	4%	2	10%
煮込みうどん	4	21%	4	11%	3	9%	9	23%	6	24%	17	68%	15	71%
焼きうどん	1	5%	7	19%	2	6%	4	10%	2	8%	0	0%	1	5%
ぶっかけうどん	2	11%	7	19%	2	6%	8	20%	0	0%	1	4%	0	0%
その他	0	0%	2	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	19	100%	37	100%	33	100%	40	100%	25	100%	25	100%	21	100%

⑦ 麺について

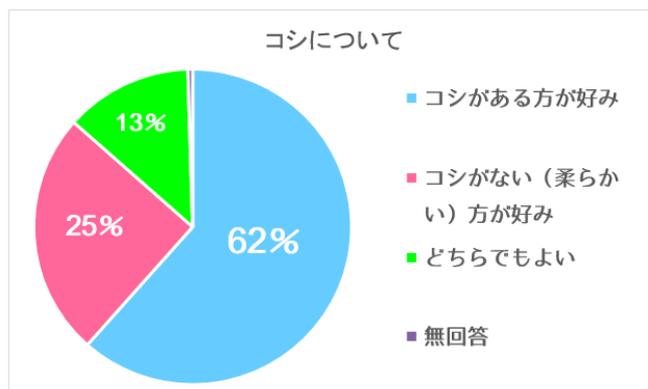
「うどんの「麺（コシ・太さ・ちぢれ）」の好みについてお聞かせください。（各問いに付き○は1つ）」という設問を行い、回答数は208であった（無回答を含む）。

● コシ

本調査における回答者のうどんの麺（コシ）の好みは、「コシがある方が好み」が62%で、「コシがない（柔らかい）方が好み」が25%、「どちらでもよい」が13%となっている。

したがって今後、新商品を開発する場合、うどんの麺のコシについては、コシのある商品を作られると回答者の6割から支持を得ていることから多くの消費者に受け入れられると考えられる。

選択項目	回答数	構成比
コシがある方が好み	128	62%
コシがない（柔らかい）方が好み	52	25%
どちらでもよい	27	13%
無回答	1	0%
計	208	100%



□ 性別

性別では、男女ともに全体平均とほぼ同様の意見となっている。

選択項目	男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比
コシがある方が好み	67	62%	57	61%
コシがない（柔らかい）方が好み	28	26%	22	23%
どちらでもよい	12	11%	15	16%
無回答	1	1%	0	0%
合計	108	100%	94	100%

□ 年齢別

年齢別では、20代～70代までは「コシがある方が好み」の回答率が最も高く、また過半数を超えている。しかし10代のみ、「コシがない（柔らかい）方が好み」が47%で最も高くなっており、大変興味深い結果となっている。

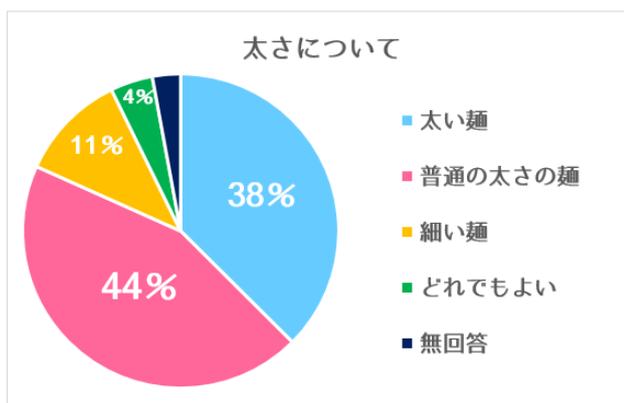
選択項目	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代	
	人数	構成比												
コシがある方が好み	7	37%	27	73%	20	61%	22	55%	13	52%	17	68%	16	76%
コシがない （柔らかい）方が好み	9	47%	7	19%	10	30%	8	20%	6	24%	6	24%	5	24%
どちらでもよい	3	16%	2	5%	3	9%	10	25%	6	24%	2	8%	0	0%
無回答	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	19	100%	37	100%	33	100%	40	100%	25	100%	25	100%	21	100%

● 太さ

本調査における回答者のうどんの麺（太さ）の好みは、「普通の太さの麺」が44%で最も高く、次いで「太い麺」が38%、「細い麺」が11%となっている。

したがって今後、新商品を開発する場合、うどんの麺の太さについては、普通の太さで商品を作られると消費者に受け入れられやすいと考えられる。

選択項目	回答数	構成比
太い麺	78	38%
普通の太さの麺	92	44%
細い麺	23	11%
どれでもよい	9	4%
無回答	6	3%
計	208	100%



□ 性別

性別では、男性は「太い麺」が48%で最も高く、女性は「普通の太さの麺」が51%で最も高くなっている。どちらもおよそ半数の支持をえているため、ターゲットによって麺の太さを変更された方が男女別のニーズに対応が出来ると考えられる。

選択項目	男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比
太い麺	52	48%	24	26%
普通の太さの麺	41	38%	48	51%
細い麺	9	8%	13	14%
どれでもよい	4	4%	5	5%
無回答	2	2%	4	4%
合計	108	100%	94	100%

□ 年齢別

年齢別では、10代、20代と言った若年世代では「太い麺」が最も高く、30代~70代の世代では「普通の太さの麺」が最も高くなっており、年代別でもターゲットによって麺の太さを変更された方がニーズに対応が出来ると考えられる。

ただし40代~60代までは、最も高い項目と2番目の項目との差が8%しかないため、麺の太さは利用顧客ごとに選択可能な注文の取り方にされた方が良いと思われる。

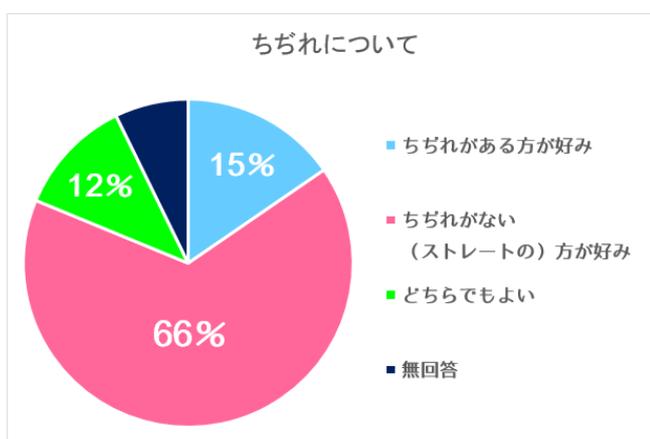
選択項目	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代	
	人数	構成比												
太い麺	10	53%	18	49%	8	24%	16	40%	10	40%	8	32%	5	24%
普通の太さの麺	6	32%	12	32%	16	48%	19	48%	12	48%	10	40%	13	62%
細い麺	2	11%	4	11%	4	12%	2	5%	3	12%	4	16%	3	14%
どれでもよい	0	0%	1	3%	4	12%	3	8%	0	0%	1	4%	0	0%
無回答	1	5%	2	5%	1	3%	0	0%	0	0%	2	8%	0	0%
合計	19	100%	37	100%	33	100%	40	100%	25	100%	25	100%	21	100%

● ちぢれ

本調査における回答者のうどんの麺（ちぢれ）の好みは、「ちぢれがない（ストレートの）方が好み」が66%で、「ちぢれがある方が好み」が15%、「どちらでもよい」が12%となっている。

したがって今後、新商品を開発する場合、うどんの麺のちぢれについては、ちぢれがないストレートの商品を作られると回答者の6割から支持を得ていることから多くの消費者に受け入れると考えられる。

選択項目	回答数	構成比
ちぢれがある方が好み	32	15%
ちぢれがない（ストレートの）方が好み	137	66%
どちらでもよい	24	12%
無回答	15	7%
計	208	100%



□ 性別

性別では、男女ともに全体平均とほぼ同様の意見となっている。

選択項目	男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比
ちぢれがある方が好み	19	18%	12	13%
ちぢれがない（ストレートの）方が好み	73	68%	60	64%
どちらでもよい	9	8%	15	16%
無回答	7	6%	7	7%
合計	108	100%	94	100%

□ 年齢別

年齢別では、こちらも性別同様、若干の数値の違いは見られるものの全体平均とほぼ同様の意見となっている。

選択項目	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代	
	人数	構成比												
ちぢれがある方が好み	2	11%	3	8%	3	9%	7	18%	5	20%	5	20%	4	19%
ちぢれない (ストレートの)方が好み	11	58%	28	76%	24	73%	26	65%	16	64%	14	56%	14	67%
どちらでもよい	1	5%	3	8%	3	9%	6	15%	4	16%	3	12%	3	14%
無回答	5	26%	3	8%	3	9%	1	3%	0	0%	3	12%	0	0%
合計	19	100%	37	100%	33	100%	40	100%	25	100%	25	100%	21	100%

⑧ 具材について

「うどんを食べる際の「具材」をお聞かせください。(上位3つ)」という設問を行い、回答数は208であった(無回答を含む)。

本調査における回答者に、普段食べられているうどん具材の上位3つを回答してもらった。

また当設問では、具材における評価として選択項目ごとに回答されている1位~3位までの回答にウェイト(※)を掛け合わせ、それらを積算させた総合項目を設け、この総合項目にある総合得点の構成比をベースに「具材」の評価(順位付け)を行った。

結果は、「かき揚げ」が21%と最も高く、次いで「えび天」が14%、「揚玉(天かす)」が10%となっている。

※ ウェイトの考え方「1位は回答数×3」「2位は回答数×2」「3位は回答数」

例：かき揚げ「(65×3) + (21×2) + (25) =262」

選択項目	1位		2位		3位		総合	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	総合得点	構成比
かき揚げ	65	31%	21	10%	25	12%	262	21%
ちくわ天	14	7%	10	5%	8	4%	70	6%
いか天	13	6%	18	9%	8	4%	83	7%
えび天	31	15%	26	13%	24	12%	169	14%
さつまいも天	4	2%	9	4%	8	4%	38	3%
なす天	5	2%	3	1%	8	4%	29	2%
かぼちゃ天	3	1%	4	2%	2	1%	19	2%
油揚げ	5	2%	15	7%	9	4%	54	4%
わかめ	1	0%	9	4%	8	4%	29	2%
揚玉(天かす)	20	10%	25	12%	11	5%	121	10%
肉	12	6%	13	6%	18	9%	80	6%
たまご(月見)	9	4%	13	6%	15	7%	68	5%
山菜	10	5%	8	4%	11	5%	57	5%
青菜	1	0%	0	0%	0	0%	3	0%
とろろ	3	1%	9	4%	12	6%	39	3%
もち	1	0%	4	2%	4	2%	15	1%
さつま揚げ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
しいたけ	1	0%	2	1%	3	1%	10	1%
カレー	5	2%	8	4%	16	8%	47	4%
何も乗せない	2	1%	1	0%	2	1%	10	1%
その他	3	1%	1	0%	1	0%	12	1%
無回答	0	0%	9	4%	15	7%	33	3%
計	208	100%	208	100%	208	100%	1248	100%

□ 性別

● 男性

男性の結果は、「かき揚げ」が21%と最も高く、次いで「えび天」が14%、「揚玉（天かす）」が10%となっている。

選択項目	1位		2位		3位		総合	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	総合得点	構成比
かき揚げ	36	33%	8	7%	12	11%	136	21%
ちくわ天	7	6%	5	5%	4	4%	35	5%
いか天	6	6%	14	13%	5	5%	51	8%
えび天	14	13%	15	14%	17	16%	89	14%
さつまいも天	1	1%	4	4%	4	4%	15	2%
なす天	3	3%	0	0%	5	5%	14	2%
かぼちゃ天	1	1%	2	2%	0	0%	7	1%
油揚げ	3	3%	6	6%	4	4%	25	4%
わかめ	0	0%	2	2%	4	4%	8	1%
揚玉（天かす）	11	10%	14	13%	5	5%	66	10%
肉	9	8%	10	9%	12	11%	59	9%
たまご（月見）	6	6%	3	3%	8	7%	32	5%
山菜	5	5%	6	6%	5	5%	32	5%
青菜	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
とろろ	1	1%	5	5%	7	6%	20	3%
もち	0	0%	3	3%	2	2%	8	1%
さつま揚げ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
しいたけ	0	0%	1	1%	1	1%	3	0%
カレー	3	3%	5	5%	6	6%	25	4%
何も乗せない	1	1%	1	1%	1	1%	6	1%
その他	1	1%	0	0%	1	1%	4	1%
無回答	0	0%	4	4%	5	5%	13	2%
合計	108	100%	108	100%	108	100%	648	100%

- 女性

女性の結果は、「かき揚げ」が21%と最も高く、次いで「えび天」が13%、「揚玉（天かす）」が10%となっている。

性別における上位3位までの差異は、ほとんど見られなかった。

選択項目	1位		2位		3位		総合	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	総合得点	構成比
かき揚げ	26	28%	13	14%	13	14%	117	21%
ちくわ天	7	7%	5	5%	4	4%	35	6%
いか天	7	7%	4	4%	3	3%	32	6%
えび天	15	16%	10	11%	7	7%	72	13%
さつまいも天	3	3%	5	5%	4	4%	23	4%
なす天	2	2%	2	2%	3	3%	13	2%
かぼちゃ天	2	2%	2	2%	2	2%	12	2%
油揚げ	2	2%	8	9%	4	4%	26	5%
わかめ	1	1%	7	7%	4	4%	21	4%
揚玉（天かす）	9	10%	11	12%	5	5%	54	10%
肉	3	3%	2	2%	5	5%	18	3%
たまご（月見）	3	3%	10	11%	6	6%	35	6%
山菜	5	5%	2	2%	6	6%	25	4%
青菜	1	1%	0	0%	0	0%	3	1%
とろろ	2	2%	4	4%	5	5%	19	3%
もち	1	1%	0	0%	2	2%	5	1%
さつま揚げ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
しいたけ	1	1%	1	1%	2	2%	7	1%
カレー	1	1%	3	3%	10	11%	19	3%
何も乗せない	1	1%	0	0%	1	1%	4	1%
その他	2	2%	1	1%	0	0%	8	1%
無回答	0	0%	4	4%	8	9%	16	3%
合計	94	100%	94	100%	94	100%	564	100%

□ 年齢別

● 10代

10代の結果は、「かき揚げ」が21%と最も高く、次いで「肉」が11%（13点）、「えび天」が11%（12点）となっている。

選択項目	1位		2位		3位		総合	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	総合得点	構成比
かき揚げ	7	37%	1	5%	1	5%	24	21%
ちくわ天	1	5%	1	5%	0	0%	5	4%
いか天	1	5%	1	5%	0	0%	5	4%
えび天	1	5%	3	16%	3	16%	12	11%
さつまいも天	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
なす天	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
かぼちゃ天	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
油揚げ	0	0%	1	5%	1	5%	3	3%
わかめ	1	5%	1	5%	0	0%	5	4%
揚玉（天かす）	1	5%	2	11%	0	0%	7	6%
肉	1	5%	3	16%	4	21%	13	11%
たまご（月見）	0	0%	1	5%	1	5%	3	3%
山菜	1	5%	0	0%	0	0%	3	3%
青菜	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
とろろ	1	5%	0	0%	2	11%	5	4%
もち	0	0%	1	5%	0	0%	2	2%
さつま揚げ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
しいたけ	0	0%	1	5%	1	5%	3	3%
カレー	2	11%	1	5%	3	16%	11	10%
何も乗せない	2	11%	0	0%	0	0%	6	5%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	0	0%	2	11%	3	16%	7	6%
合計	19	100%	19	100%	19	100%	114	100%

● 20代

20代の結果は、「えび天」「揚玉（天かす）」が13%と最も高く、次いでが「かき揚げ」「肉」が12%となっている。

選択項目	1位		2位		3位		総合	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	総合得点	構成比
かき揚げ	7	19%	2	5%	1	3%	26	12%
ちくわ天	2	5%	0	0%	2	5%	8	4%
いか天	3	8%	6	16%	2	5%	23	10%
えび天	6	16%	3	8%	4	11%	28	13%
さつまいも天	1	3%	1	3%	2	5%	7	3%
なす天	1	3%	0	0%	0	0%	3	1%
かぼちゃ天	0	0%	2	5%	0	0%	4	2%
油揚げ	1	3%	1	3%	2	5%	7	3%
わかめ	0	0%	1	3%	1	3%	3	1%
揚玉（天かす）	4	11%	6	16%	4	11%	28	13%
肉	5	14%	4	11%	3	8%	26	12%
たまご（月見）	2	5%	1	3%	3	8%	11	5%
山菜	2	5%	1	3%	1	3%	9	4%
青菜	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
とろろ	1	3%	2	5%	2	5%	9	4%
もち	1	3%	1	3%	3	8%	8	4%
さつま揚げ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
しいたけ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
カレー	0	0%	3	8%	1	3%	7	3%
何も乗せない	0	0%	0	0%	2	5%	2	1%
その他	1	3%	0	0%	1	3%	4	2%
無回答	0	0%	3	8%	3	8%	9	4%
合計	37	100%	37	100%	37	100%	222	100%

- 30代

30代の結果は、「かき揚げ」が22%と最も高く、次いで「えび天」が17%、「揚玉（天かす）」が15%となっている。

選択項目	1位		2位		3位		総合	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	総合得点	構成比
かき揚げ	9	27%	5	15%	7	21%	44	22%
ちくわ天	1	3%	3	9%	3	9%	12	6%
いか天	2	6%	4	12%	2	6%	16	8%
えび天	7	21%	5	15%	3	9%	34	17%
さつまいも天	1	3%	0	0%	0	0%	3	2%
なす天	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
かぼちゃ天	0	0%	1	3%	1	3%	3	2%
油揚げ	1	3%	2	6%	0	0%	7	4%
わかめ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
揚玉（天かす）	5	15%	6	18%	2	6%	29	15%
肉	1	3%	0	0%	3	9%	6	3%
たまご（月見）	3	9%	1	3%	4	12%	15	8%
山菜	1	3%	1	3%	1	3%	6	3%
青菜	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
とろろ	1	3%	1	3%	3	9%	8	4%
もち	0	0%	0	0%	1	3%	1	1%
さつま揚げ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
しいたけ	0	0%	1	3%	0	0%	2	1%
カレー	1	3%	2	6%	2	6%	9	5%
何も乗せない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	0	0%	1	3%	1	3%	3	2%
合計	33	100%	33	100%	33	100%	198	100%

- 40代

40代の結果は、「かき揚げ」が25%と最も高く、次いで「揚玉（天かす）」が11%、「ちくわ天」が10%となっている。

選択項目	1位		2位		3位		総合	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	総合得点	構成比
かき揚げ	17	43%	3	8%	3	8%	60	25%
ちくわ天	6	15%	2	5%	3	8%	25	10%
いか天	3	8%	0	0%	2	5%	11	5%
えび天	1	3%	5	13%	5	13%	18	8%
さつまいも天	1	3%	3	8%	1	3%	10	4%
なす天	0	0%	0	0%	4	10%	4	2%
かぼちゃ天	2	5%	1	3%	1	3%	9	4%
油揚げ	0	0%	2	5%	3	8%	7	3%
わかめ	0	0%	4	10%	3	8%	11	5%
揚玉（天かす）	4	10%	7	18%	1	3%	27	11%
肉	3	8%	3	8%	4	10%	19	8%
たまご（月見）	2	5%	4	10%	2	5%	16	7%
山菜	0	0%	2	5%	2	5%	6	3%
青菜	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
とろろ	0	0%	1	3%	0	0%	2	1%
もち	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
さつま揚げ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
しいたけ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
カレー	1	3%	2	5%	3	8%	10	4%
何も乗せない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	0	0%	1	3%	3	8%	5	2%
合計	40	100%	40	100%	40	100%	240	100%

● 50代

50代の結果は、「かき揚げ」が27%と最も高く、次いで「えび天」が14%、「油揚げ」「揚玉（天かす）」が7%となっている。

選択項目	1位		2位		3位		総合	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	総合得点	構成比
かき揚げ	10	40%	3	12%	4	16%	40	27%
ちくわ天	1	4%	2	8%	0	0%	7	5%
いか天	1	4%	3	12%	1	4%	10	7%
えび天	4	16%	2	8%	5	20%	21	14%
さつまいも天	0	0%	2	8%	1	4%	5	3%
なす天	0	0%	0	0%	4	16%	4	3%
かぼちゃ天	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
油揚げ	2	8%	2	8%	1	4%	11	7%
わかめ	0	0%	0	0%	2	8%	2	1%
揚玉（天かす）	2	8%	2	8%	1	4%	11	7%
肉	2	8%	1	4%	0	0%	8	5%
たまご（月見）	0	0%	2	8%	1	4%	5	3%
山菜	1	4%	1	4%	0	0%	5	3%
青菜	1	4%	0	0%	0	0%	3	2%
とろろ	0	0%	2	8%	0	0%	4	3%
もち	0	0%	1	4%	0	0%	2	1%
さつま揚げ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
しいたけ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
カレー	1	4%	0	0%	4	16%	7	5%
何も乗せない	0	0%	1	4%	0	0%	2	1%
その他	0	0%	1	4%	0	0%	2	1%
無回答	0	0%	0	0%	1	4%	1	1%
合計	25	100%	25	100%	25	100%	150	100%

● 60代

60代の結果は、「かき揚げ」が23%と最も高く、次いで「えび天」が17%、「揚玉（天かす）」が9%（14点）となっている。

選択項目	1位		2位		3位		総合	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	総合得点	構成比
かき揚げ	8	32%	2	8%	6	24%	34	23%
ちくわ天	1	4%	1	4%	0	0%	5	3%
いか天	3	12%	3	12%	0	0%	15	10%
えび天	4	16%	5	20%	3	12%	25	17%
さつまいも天	0	0%	1	4%	3	12%	5	3%
なす天	1	4%	1	4%	0	0%	5	3%
かぼちゃ天	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
油揚げ	1	4%	3	12%	0	0%	9	6%
わかめ	0	0%	0	0%	2	8%	2	1%
揚玉（天かす）	3	12%	2	8%	1	4%	14	9%
肉	0	0%	1	4%	1	4%	3	2%
たまご（月見）	0	0%	1	4%	2	8%	4	3%
山菜	2	8%	2	8%	3	12%	13	9%
青菜	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
とろろ	0	0%	2	8%	1	4%	5	3%
もち	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
さつま揚げ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
しいたけ	1	4%	0	0%	0	0%	3	2%
カレー	0	0%	0	0%	2	8%	2	1%
何も乗せない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	1	4%	0	0%	0	0%	3	2%
無回答	0	0%	1	4%	1	4%	3	2%
合計	25	100%	25	100%	25	100%	150	100%

- 70代

70代の結果は、「えび天」が18%と最も高く、次いで「かき揚げ」が17%、「山菜」が11%となっている。

選択項目	1位		2位		3位		総合	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	総合得点	構成比
かき揚げ	3	14%	5	24%	2	10%	21	17%
ちくわ天	2	10%	1	5%	0	0%	8	6%
いか天	0	0%	1	5%	1	5%	3	2%
えび天	6	29%	2	10%	1	5%	23	18%
さつまいも天	1	5%	2	10%	0	0%	7	6%
なす天	1	5%	1	5%	0	0%	5	4%
かぼちゃ天	1	5%	0	0%	0	0%	3	2%
油揚げ	0	0%	3	14%	2	10%	8	6%
わかめ	0	0%	1	5%	0	0%	2	2%
揚玉（天かす）	1	5%	0	0%	1	5%	4	3%
肉	0	0%	0	0%	1	5%	1	1%
たまご（月見）	2	10%	3	14%	1	5%	13	10%
山菜	3	14%	1	5%	3	14%	14	11%
青菜	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
とろろ	0	0%	1	5%	4	19%	6	5%
もち	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
さつま揚げ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
しいたけ	0	0%	0	0%	2	10%	2	2%
カレー	0	0%	0	0%	1	5%	1	1%
何も乗せない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	1	5%	0	0%	0	0%	3	2%
無回答	0	0%	0	0%	2	10%	2	2%
合計	21	100%	21	100%	21	100%	126	100%

具材におけるまとめとして、全体的には「かき揚げ」「えび天」「揚玉（天かす）」が上位人気で、そこに「肉」「ちくわ天」「山菜」の具材を用意しておけば、どの性別年齢別においても過半数以上の消費者のニーズが満たせられると考えられるため、食材のコスト削減に作立てていただきたいと考えている。

⑨ 薬味について

「うどんを食べる際の「薬味」をお聞かせください。(上位3つ)」という設問を行い、回答数は208であった(無回答を含む)。

本調査における回答者に、普段うどんを食べる際に使われる薬味の上位3つを回答してもらった。

また当設問でも、具材の設問と同様に総合項目を設けており、この総合項目にある総合得点の構成比をベースに「薬味」の評価(順位付け)を行っている。

結果は、「ねぎ」が41%と最も高く、次いで「唐辛子」が21%、「みょうが」が6%となっている。

選択項目	1位		2位		3位		総合	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	総合得点	構成比
ねぎ	139	67%	43	21%	4	2%	507	41%
みょうが	7	3%	24	12%	7	3%	76	6%
大葉	6	3%	6	3%	9	4%	39	3%
唐辛子	39	19%	64	31%	22	11%	267	21%
大根おろし	5	2%	17	8%	15	7%	64	5%
かつお節	1	0%	5	2%	14	7%	27	2%
生姜	3	1%	16	8%	26	13%	67	5%
ゆず	1	0%	2	1%	16	8%	23	2%
のり	2	1%	10	5%	8	4%	34	3%
ごま	1	0%	6	3%	8	4%	23	2%
その他	0	0%	1	0%	1	0%	3	0%
無回答	4	2%	14	7%	78	38%	118	9%
計	208	100%	208	100%	208	100%	1248	100%

□ 性別

● 男性

男性の結果は、「ねぎ」が42%と最も高く、次いで「唐辛子」が21%、「みょうが」が6%となっている。

選択項目	1位		2位		3位		総合	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	総合得点	構成比
ねぎ	76	70%	22	20%	1	1%	273	42%
みょうが	3	3%	14	13%	2	2%	39	6%
大葉	4	4%	4	4%	5	5%	25	4%
唐辛子	19	18%	34	31%	12	11%	137	21%
大根おろし	1	1%	9	8%	6	6%	27	4%
かつお節	1	1%	2	2%	10	9%	17	3%
生姜	0	0%	8	7%	13	12%	29	4%
ゆず	0	0%	0	0%	6	6%	6	1%
のり	1	1%	6	6%	3	3%	18	3%
ごま	0	0%	1	1%	4	4%	6	1%
その他	0	0%	0	0%	1	1%	1	0%
無回答	3	3%	8	7%	45	42%	70	11%
合計	108	100%	108	100%	108	100%	648	100%

● 女性

女性の結果は、「ねぎ」が38%と最も高く、次いで「唐辛子」が22%、「生姜」が6%となっている。

選択項目	1位		2位		3位		総合	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	総合得点	構成比
ねぎ	57	61%	21	22%	3	3%	216	38%
みょうが	4	4%	9	10%	5	5%	35	6%
大葉	2	2%	2	2%	4	4%	14	2%
唐辛子	20	21%	28	30%	9	10%	125	22%
大根おろし	4	4%	6	6%	8	9%	32	6%
かつお節	0	0%	3	3%	2	2%	8	1%
生姜	3	3%	7	7%	13	14%	36	6%
ゆず	1	1%	2	2%	10	11%	17	3%
のり	1	1%	4	4%	5	5%	16	3%
ごま	1	1%	5	5%	4	4%	17	3%
その他	0	0%	1	1%	0	0%	2	0%
無回答	1	1%	6	6%	31	33%	46	8%
合計	94	100%	94	100%	94	100%	564	100%

□ 年齢別

● 10代

10代の結果は、「ねぎ」が43%と最も高く、次いで「唐辛子」が11%（13点）、「のり」が11%（12点）となっている。

選択項目	1位		2位		3位		総合	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	総合得点	構成比
ねぎ	15	79%	2	11%	0	0%	49	43%
みょうが	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
大葉	0	0%	1	5%	0	0%	2	2%
唐辛子	1	5%	5	26%	0	0%	13	11%
大根おろし	0	0%	3	16%	1	5%	7	6%
かつお節	0	0%	1	5%	1	5%	3	3%
生姜	0	0%	1	5%	3	16%	5	4%
ゆず	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
のり	2	11%	3	16%	0	0%	12	11%
ごま	0	0%	0	0%	2	11%	2	2%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	1	5%	3	16%	12	63%	21	18%
合計	19	100%	19	100%	19	100%	114	100%

● 20代

20代の結果は、「ねぎ」が39%と最も高く、次いで「唐辛子」が19%、「みょうが」が8%となっている。

選択項目	1位		2位		3位		総合	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	総合得点	構成比
ねぎ	25	68%	5	14%	2	5%	87	39%
みょうが	2	5%	5	14%	1	3%	17	8%
大葉	0	0%	1	3%	4	11%	6	3%
唐辛子	7	19%	8	22%	5	14%	42	19%
大根おろし	0	0%	2	5%	1	3%	5	2%
かつお節	1	3%	1	3%	3	8%	8	4%
生姜	0	0%	6	16%	4	11%	16	7%
ゆず	0	0%	0	0%	1	3%	1	0%
のり	0	0%	3	8%	1	3%	7	3%
ごま	1	3%	2	5%	2	5%	9	4%
その他	0	0%	0	0%	1	3%	1	0%
無回答	1	3%	4	11%	12	32%	23	10%
合計	37	100%	37	100%	37	100%	222	100%

- 30代

男性の結果は、「ねぎ」が38%と最も高く、次いで「唐辛子」が28%、「生姜」が6%となっている。

選択項目	1位		2位		3位		総合	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	総合得点	構成比
ねぎ	19	58%	9	27%	0	0%	75	38%
みょうが	0	0%	1	3%	0	0%	2	1%
大葉	0	0%	2	6%	1	3%	5	3%
唐辛子	10	30%	12	36%	2	6%	56	28%
大根おろし	3	9%	2	6%	3	9%	16	8%
かつお節	0	0%	2	6%	1	3%	5	3%
生姜	1	3%	2	6%	4	12%	11	6%
ゆず	0	0%	0	0%	3	9%	3	2%
のり	0	0%	1	3%	2	6%	4	2%
ごま	0	0%	1	3%	0	0%	2	1%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	0	0%	1	3%	17	52%	19	10%
合計	33	100%	33	100%	33	100%	198	100%

- 40代

40代の結果は、「ねぎ」が39%と最も高く、次いで「唐辛子」が25%、「みょうが」「生姜」が5%となっている。

選択項目	1位		2位		3位		総合	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	総合得点	構成比
ねぎ	23	58%	12	30%	1	3%	94	39%
みょうが	2	5%	2	5%	2	5%	12	5%
大葉	1	3%	1	3%	1	3%	6	3%
唐辛子	10	25%	15	38%	1	3%	61	25%
大根おろし	2	5%	1	3%	2	5%	10	4%
かつお節	0	0%	0	0%	1	3%	1	0%
生姜	0	0%	3	8%	6	15%	12	5%
ゆず	0	0%	0	0%	3	8%	3	1%
のり	0	0%	1	3%	1	3%	3	1%
ごま	0	0%	1	3%	3	8%	5	2%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	2	5%	4	10%	19	48%	33	14%
合計	40	100%	40	100%	40	100%	240	100%

- 50代

50代の結果は、「ねぎ」が40%と最も高く、次いで「唐辛子」が29%、「みょうが」が9%となっている。

選択項目	1位		2位		3位		総合	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	総合得点	構成比
ねぎ	15	60%	7	28%	1	4%	60	40%
みょうが	3	12%	2	8%	0	0%	13	9%
大葉	2	8%	0	0%	2	8%	8	5%
唐辛子	5	20%	12	48%	4	16%	43	29%
大根おろし	0	0%	1	4%	2	8%	4	3%
かつお節	0	0%	0	0%	1	4%	1	1%
生姜	0	0%	1	4%	4	16%	6	4%
ゆず	0	0%	1	4%	3	12%	5	3%
のり	0	0%	1	4%	1	4%	3	2%
ごま	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	0	0%	0	0%	7	28%	7	5%
合計	25	100%	25	100%	25	100%	150	100%

- 60代

60代の結果は、「ねぎ」が47%と最も高く、次いで「唐辛子」が18%、「みょうが」が7%となっている。

選択項目	1位		2位		3位		総合	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	総合得点	構成比
ねぎ	22	88%	2	8%	0	0%	70	47%
みょうが	0	0%	4	16%	2	8%	10	7%
大葉	0	0%	1	4%	1	4%	3	2%
唐辛子	2	8%	9	36%	3	12%	27	18%
大根おろし	0	0%	4	16%	3	12%	11	7%
かつお節	0	0%	0	0%	1	4%	1	1%
生姜	0	0%	1	4%	1	4%	3	2%
ゆず	1	4%	0	0%	6	24%	9	6%
のり	0	0%	1	4%	0	0%	2	1%
ごま	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	1	4%	0	0%	2	1%
無回答	0	0%	2	8%	8	32%	12	8%
合計	25	100%	25	100%	25	100%	150	100%

- 70代

70代の結果は、「ねぎ」が41%と最も高く、次いで「唐辛子」が16%、「みょうが」が14%となっている。

選択項目	1位		2位		3位		総合	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	総合得点	構成比
ねぎ	14	67%	5	24%	0	0%	52	41%
みょうが	0	0%	8	38%	2	10%	18	14%
大葉	2	10%	0	0%	0	0%	6	5%
唐辛子	4	19%	2	10%	4	19%	20	16%
大根おろし	0	0%	3	14%	2	10%	8	6%
かつお節	0	0%	0	0%	5	24%	5	4%
生姜	1	5%	1	5%	3	14%	8	6%
ゆず	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
のり	0	0%	0	0%	3	14%	3	2%
ごま	0	0%	2	10%	0	0%	4	3%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	0	0%	0	0%	2	10%	2	2%
合計	21	100%	21	100%	21	100%	126	100%

薬味におけるまとめとして、全体的には「ねぎ」「唐辛子」だけで、どの性別年齢別においても過半数以上の消費者のニーズが満たせられると考えられる。そこに口コミを促進させられるような第3の薬味として、各店舗の独自色を出した奇抜な薬味を開発していただきたいと考えている。

例：「唐辛子」「かつお節」「ゆず」「ごま」をミックスして粉末にさせたものなど

3. まとめ

これまでの調査結果をまとめると

回答者の属性について

- 回答者の性別は、男性が 52%で、女性が 45%となっている。
- 回答者の年齢は、40代が 19%で最も高く、次いで、20代が 18%、50代、60代が 12%と続いており、年代におけるバラツキは少ない。
- 回答者の性別年齢では、男性は、若者世代の構成比が高くなっており、女性は、ご年配世代の構成比が高くなっている。また年齢別における性別の構成比は、10代~50代までは男性が高く、60代、70代では女性の方が高くなっている。

消費者のうどんにおける意識

- 回答者の氏家うどんの認知度は、「はい」が 56%で「いいえ」が 44%となっており、過半数を少し超えている程度であるため、さらなる周知活動が必要。性別では男性よりも女性の認知度が高い。年齢別では、10代、70代の認知度は高く、7割以上が「はい」と回答している。
- 回答者のうどんブランドの第一再生知名は、「讃岐うどん」が 65%で最も高く、次いで「稲庭うどん」が 13%、「氏家うどん」が 7%となっている。年齢別では、氏家うどんの認知度と同様、10代、70代の「氏家うどん」の第一再生知名が他の年代に比べて高い。
- 回答者のうどんを食する頻度は、「月に 2~3日」が 41%で最も高く、次いで「週に 1日」が 30%、「週に 2~3日」が 15%となっており、8割を超える回答者が 2週間に一度は、うどんを食している。女性の過半数以上（53%）が「週に 1日」以上うどんを食すると回答しており、男性よりも女性の方がうどんを食する頻度が多い。また年代が高くなるほど、うどんを食する頻度が多い傾向にある。
- 回答者のうどんを食するタイミングは、「昼食」が 44%と最も高く、次いで「夕食」が 29%、「寒いとき」が 10%となっており、時間でのタイミング（朝食~夜食）の回答が 7割を超えている。
- 回答者のうどんの好みは、「温かいうどんが好み」が 64%と最も高く、次いで「どちら好み（場合によって使い分ける）」が 24%で、「冷たいうどんが好み」が 10%となっている。年齢別では、ご年配世代は、温かいうどんが好みということが分かった。
- 回答者のうどんの食べ方は、「かけうどん」が 40%と最も高く、次いで「煮込みうどん」が 30%で、「つけうどん」が 11%となっている。40代は、他の世代よりも様々なうどんの食べ方が出来ている。

- 回答者のうどんの麺（コシ）の好みは、「コシがある方が好み」が 62%で、「コシがない（柔らかい）方が好み」が 25%、「どちらでもよい」が 13%となっている。しかし 10 代のみ、「コシがない（柔らかい）方が好み」が 47%で最も高い。
- 回答者のうどんの麺（太さ）の好みは、「普通の太さの麺」が 44%で最も高く、次いで「太い麺」が 38%、「細い麺」が 11%となっている。男性は「太い麺」が 48%で最も高く、女性は「普通の太さの麺」が 51%で最も高い。40 代～60 代までは、麺の太さは利用顧客ごとに選択可能な注文の取り方にされた方が良い。
- 回答者のうどんの麺（ちぢれ）の好みは、「ちぢれがない（ストレートの）方が好み」が 66%で、「ちぢれがある方が好み」が 15%、「どちらでもよい」が 12%となっている。
- 回答者のうどんを食べる際の具材については、「かき揚げ」「えび天」「揚玉（天かす）」が上位人気で、そこに「肉」「ちくわ天」「山菜」の具材を用意しておけば、どの性別年齢別においても過半数以上の消費者のニーズが満たせられると考えられるため、食材のコスト削減に作立てていただきたい。
- 回答者のうどんを食べる際の薬味については、「ねぎ」「唐辛子」だけで、どの性別年齢別においても過半数以上の消費者のニーズが満たせられると考えられる。そこに口コミを促進させられるような第 3 の薬味として、各店舗の独自色を出した奇抜な薬味を開発していただきたい。

最後に氏家うどんへの意見、要望については、この後の Appendix で掲載している。

以上

Appendix

自由回答一覧

今後、氏家うどんについて何かご意見、ご要望などありましたらお聞かせください。（自由回答）

氏家うどんについて何かご意見、ご要望
細くこしがある方がよい、だしがよい
色がいい
氏家うどんの焼きうどんが食べたいです
美味しい味です。
おみやげ用があった方がよい
お土産用の麺も一緒に販売してください
頑張ってください
これからもおいしいうどんを作ってください！
寒かったので温かくておいしかったです
実家の両親が大好きでよくお土産にして喜ばれています。こしがあっておいしいです。
汁を捨てる所が欲しい、コシをもう少し
新聞等でよく見ます。
冷たいうどんや焼きうどんも食べてみたいです
つゆがとてもおいしい
天かすを乗せ放題にしてください
とてもおいしかったです
販売していた方もマラソン大会に出場したのですね。お疲れ様です。
ブランドを確立するためにも宣伝をしてください。

【作成/監修】

〒324-0054

栃木県大田原市若松町 505-1 柴田若松コーポ 103号

株式会社ネオクラシック 中小企業診断士 柴田 幸紀